



たいじゅ もり
大樹の森

5月号



<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fudomaru/>



「△」からのスタート！

校長 山下 謙一郎

新年度が始まり、早いもので4月が今日で終わります。新しい学年、クラスで子どもたちは生き生きと学習に活動に取り組んでいます。校庭で遊ぶ子どもたちの姿を見ていると、みんなエネルギーに満ちています。今も昔も、子どもたちは力強く成長しているんだなということを実感せずにはられません。

さて、新しい学年になると、これまでになかった新しい学びに出会うことが増えます。1年生にとってはすべてが新鮮なのでしょうが、中学年になると理科、社会に加えて総合的な学習の時間が、高学年になると家庭科が、といった具合に多様な教科に巡り合います。廊下や校庭で会った子どもたちに聞いてみると、「理科で実験するのが楽しみだな。」という子もいれば、「家庭科の調理実習で何をつくろうかな？」という前向きな子もいる一方で、「実験中に爆発したらどうしよう？」という子もいたり、「包丁使うのが怖い」と不安でいっぱいの子もいたりしました。きっと、いろいろと想像を膨らませていたのでしょう。子どもらしい発言が、微笑ましく感じました。

と同時に、成績のことを気にしている子もいます。「算数が難しくなりそうだな。」「もうこれ以上漢字は覚えられない。」とこぼしている子も…。そうかと思えば、「算数は得意だから大丈夫。」「体育には自信がある。」と嬉しそうに話す子もいます。

でも、今の段階で子どもたちの成績表である「あゆみ」は、全員、全教科努力を要するの「△」です。昨年度の「あゆみ」がよかったから、今年もいいに違いない…そんなことはありません。先生たちは、その年その年の子どもたちの成長を見つめて評価していきます。つまり、全員が同じスタートラインからの出発となります。「△」からのスタートですから、誰もが上積みしかありません。がんばったことはすべて蓄積されますし、先生たちも一生懸命がんばりを見つけ、認めていきます。チャンスは平等にあるのです。

今年度の目標を家庭でも立ててみましょう。子どもたちがその目標を実現できるように、是非学校と家庭で力を合わせて、今年度もがんばっていきたいと思います。